

2016年度 環境活動レポート

株式会社クロサワ

株式会社クロサワエンジニアリング

対象期間 2016年4月1日～2017年3月31日

レポート発行日:2017年6月26日

1. 組織の概要に関する情報,対象範囲

(1) 事業所名及び代表者氏名

事業所名 株式会社クロサワ
株式会社クロサワエンジニアリング
代表者名 代表取締役社長 黒澤 哲

(2) 所在地

【株式会社クロサワ】

(本社、ICTグループ)

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルスベイサイド4F

(品川オフィス)

〒108-0074 東京都港区高輪2-14-17 グレイス高輪8F 品川ビジネスセンター内

【株式会社クロサワエンジニアリング】

(本社) 〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルスベイサイド3F

(事業グループ)

(第一事業グループ) 〒253-0101 神奈川県高座郡寒川町倉見3 JX金属(株)倉見工場内

(第一事業グループ) 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7-6-1 ケイミュ株式会社内

(第二事業グループ) 〒188-0001 東京都西東京市谷戸町2-1-1 住友重機械工業(株)内

(第三事業グループ) 〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町19 住友重機械工業(株)内

(第四事業グループ) 〒183-8511 東京都府中市東芝町1 東芝府中事業所内

(大阪営業所) 〒597-0002 大阪府貝塚市新町4-6 森ビル3F

(ICTグループ) 〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルスベイサイド3F₂

(3) 事業活動の内容

業務請負事業、一般労働者派遣事業、人材紹介、ICTソリューション事業

【主力事業】 ●適正なアウトソーシングを提案

●ICTソリューション事業

(4) 事業の規模

売上高： 21.4億円(2016年度)

従業員数： 48名 (他、請負/派遣社員 401名)

(5) 環境管理責任者氏名及び担当者

環境管理責任者 取締役・部長 横澤 寛之

担当者 藤川 尚紀/山口 和也

TEL 045-503-2650

【対象範囲】

認証・登録対象組織

株式会社クロサワ、株式会社クロサワエンジニアリング

2. クロサワグループの 環境方針

基本理念

1. 当クロサワグループは、「お客様」、「働く人」、「クロサワ」の三者の利益を信念とし、この三者が満足度の点で正しいトライアングルを創れるようにすることが社会貢献につながると考えます。
2. 地球環境の保全に努め、自然と調和し、サービスの提供およびすべての事業活動において環境に配慮した事業運営を行うものとします。

行動指針

1. 私たちは省エネルギー、省資源、資源の再利用に配慮した事業運営を行います。
2. 社内広報活動および社内教育により全社員に環境保全活動をインフォメーションし、自主的で環境に配慮した事業運営活動およびお客様の環境保全活動に貢献する活動を行います。
3. 環境関連法規の順守及び環境に関する数値実績の把握、環境保全活動が継続的に改善できるように活動を行います。
4. 重点推進項目
環境負荷の低減および環境改善を図るために、次の項目について重点的に取り組みます。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 廃棄物の削減
 - 3) 水使用量の削減
 - 4) グリーン商品の優先的購入
 - 5) 自らが生産・販売・提供するサービスに関する環境目標として、事務業務の効率化・・・紙使用量の削減に努めます。

平成22年7月6日 改訂 平成23年5月
(株)クロサワ及び(株)クロサワエンジニアリング
代表取締役 黒澤 哲

3. 短・中期環境目標(クロサワグループ)

項目	基準期間のデータ	年度目標	中期目標	
	2009年度	2016年度	2017年度	2018年度
1. 二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	69,172 kg-CO ₂	17%削減 57,914 kg-CO ₂	18%削減 57,224 kg-CO ₂	19%削減 56,532 kg-CO ₂
1.1 電力使用量(kWh)	73,173kWh	20%削減 58,538kWh	21%削減 57,806 kWh	22%削減 57,075 kWh
(kg-CO ₂)	(36,952 kg-CO ₂)	(29,562 kg-CO ₂)	(29,192kg-CO ₂)	(28,823kg-CO ₂)
1.2 ガソリン使用量(L)	13,878 L	12%削減 12,212 L	13%削減 12,074 L	14%削減 11,935 L
(kg-CO ₂)	(32,220 Kg-CO ₂)	(28,353 kg-CO ₂)	(28,031kg-CO ₂)	(27,709kg-CO ₂)
2. コピー用紙使用量削減(kg) (自らが提供するサービスに関する配慮)	1,261 kg	5%削減 1,198 kg	5%削減 1,198 kg	5%削減 1,198 kg
3. 廃棄物排出量 (kg)	(2010年度 排出量実績) 1,830 kg	20%削減 1,464 kg	21%削減 1,445 kg	22%削減 1,427 kg
4. 水道使用量(m ³)	419 m ³	18%削減 343 m ³	19%削減 339 m ³	20%削減 335 m ³
5. グリーン購入の拡大	グリーン化率 (2010年度 購入実績) 56%	グリーン化率 72%	グリーン化率 74%	グリーン化率 76%
6. 環境教育の実施率向上	2015年度から目標に設定	教育実施率93%以上	実施率95%以上	実施率95%以上

4. 環境活動計画

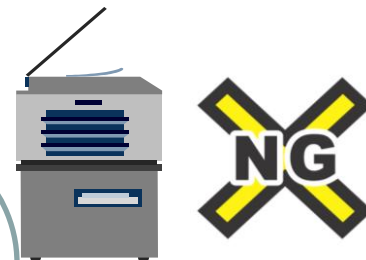
1. 省エネ(電力使用量削減、ガソリン使用料削減)

- 空調温度の適正化 冷房:28°C、暖房:20°C
- 長時間未使用PCの電源オフ
(スクリーンセーバ 10分以内)
- 昼休みの天井灯消灯(1H)
- 蛍光灯のLED化
- エコドライブ



2. 省資源(使用量削減)

- カラーコピーの削減、両面/縮小印刷等
- ペーパーレス業務の工夫
電子データ化、**ペーパーレス会議の実施**
- 節水



3. 廃棄物管理の徹底

- 可燃ごみ発生量の抑制(紙の廃棄・リサイクル化)

4. グリーン購入の拡大

- グリーン商品の購入拡大



5. 環境目標の実績

5-1 全社(クロサワグループ)

項目	環境目標 2016年度	実績 2016年4月～2017年3月	達成 状況
1. CO ₂ 削減	2009年度比17%削減 57,914kg-CO ₂	2009年度比50%削減 34,678kg-CO ₂	○
①電力使用量削減 *注1	2009年度比20%削減 58,538kWh	2009年度比53%削減 33,905kWh	○
②ガソリン使用量削減	2009年度比12%削減 12,212 L	2009年度比45%削減 7,562 L	○
2. コピー紙使用量の削減	2009年度比5%削減 1,198 kg	2009年度比△2%削減 1,290 kg	×
3. 水使用量削減	2009年度比18%削減 343 m ³	2009年度比39%削減 255 m ³	○
4. 廃棄物排出量削減	2010年度比20%削減 1,464 kg	2010年度比59%削減 744 kg	○
5. グリーン購入の拡大	グリーン化率 72%	グリーン化率 85%	○
6. 環境教育の実施率向上	実施率 93%以上	100%	○

*注1 電力の排出係数:0.505

5-2 クロサワ

項目	環境目標 2016年度	実績 2016年4月～2017年3月	達成 状況
1. CO ₂ 削減	2009年度比20%削減 16,716kg-CO ₂	2009年度比69%削減 6,522kg-CO ₂	○
①電力使用量削減 *注1	2009年度比20%削減 33,101kWh	2009年度比69%削減 12,914kWh	○
②ガソリン使用量削減	使用量なし	0	-
2. コピー紙使用量の削減	2009年度比5%削減 251 kg	2009年度比7%削減 244 kg	○
3. 水使用量削減	2009年度比18%削減 153 m ³	2009年度比20%削減 149 m ³	○
4. 廃棄物排出量削減	2010年度比20%削減 420 kg	2010年度比65%削減 183 kg	○
5. グリーン購入の拡大	グリーン化率 84%	グリーン化率 89%	○
6. 環境教育の実施率向上	実施率 93%以上	100%	○

*注1 電力の排出係数:0.505

5-3 クロサワエンジニアリング

項目	環境目標 2016年度	実績 2016年4月～2017年3月	達成 状況
1. CO ₂ 削減	2009年度比15%削減 41,198kg-CO ₂	2009年度比41%削減 28,155kg-CO ₂	○
①電力使用量削減 *注1	2009年度比20%削減 25,437kWh	2009年度比34%削減 20,991kWh	○
②ガソリン使用量削減	2009年度比12%削減 12,212 L	2009年度比45%削減 7,562 L	○
2. コピー紙使用量の削減	2009年度比5%削減 947 kg	2009年度比△5% 1,045 kg	×
3. 水使用量削減	2009年度比18%削減 190 m ³	2009年度比54%削減 106 m ³	○
4. 廃棄物排出量削減	2010年度比20%削減 1,044 kg	2010年度比57%削減 560 kg	○
5. グリーン購入の拡大	グリーン化率 69%	グリーン化率 85%	○
6. 環境教育の実施率向上	実施率 93%以上	100%	○

*注1 電力の排出係数:0.505

6.取組結果とその評価、次年度の取組内容

二酸化炭素排出量の削減

【電力使用量、ガソリン使用量の削減】

取り組み

◇空調温度の適正化 冷房:28℃ 暖房:20℃程度

◇節電対策の強化 昼休みの天井灯消灯

◇パソコン管理の適正化 スクリーンセーバ 10分以内

◇サーバーのクラウド化

◆蛍光灯のLED化、複合機の入替実施

◆ペーパーレス会議の実施

◇ガソリン使用量の削減 ・エコドライブの徹底 ・エコカーへの切替実施

目標	結果
83%	50%
2009年度比 50%削減	

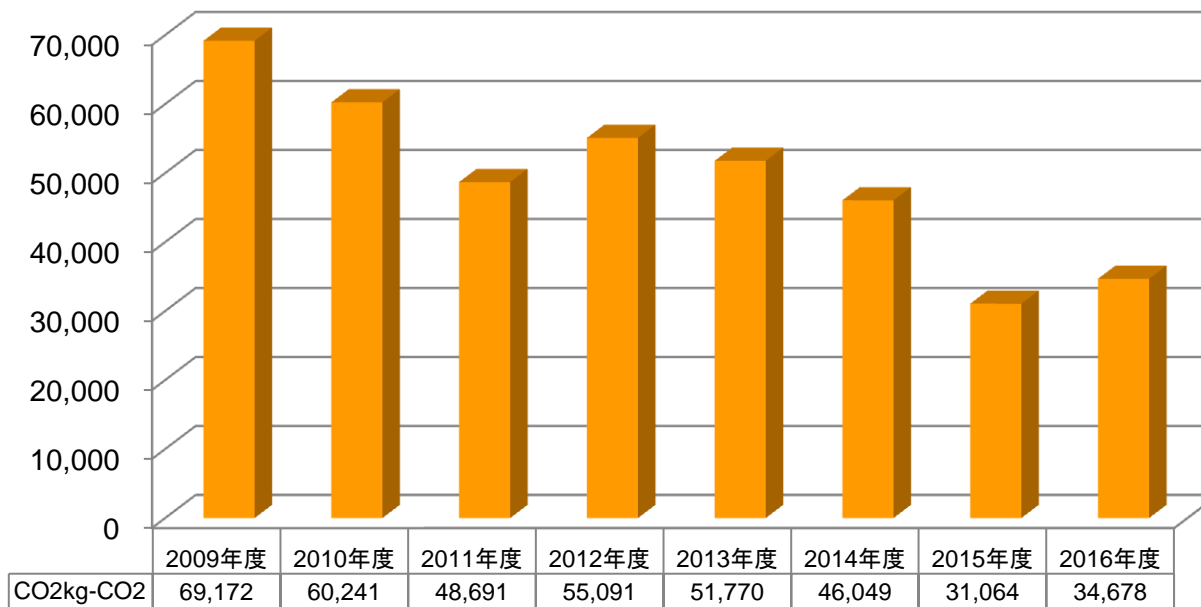


評価(結果と次年度の取り組み)

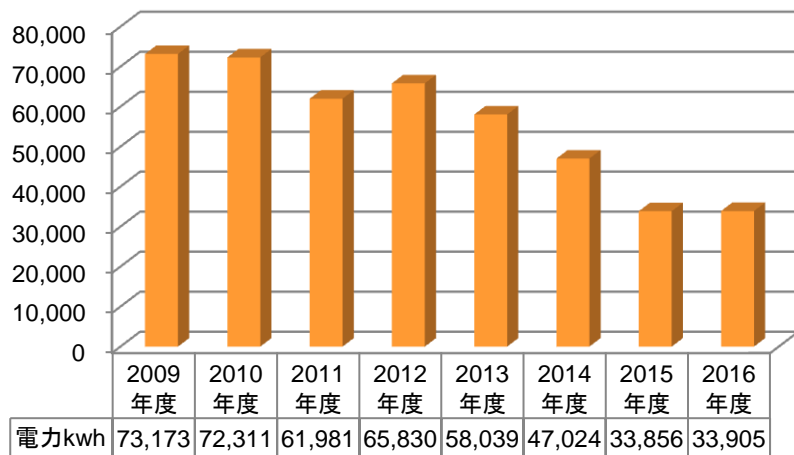
2016年度の目標値を見直し高くしたが、全社員が節電を意識できた結果と考えます。ここ数年の節電、省エネの施策(LED照明化、サーバーのクラウド化、エコカーへの切替等)によりCO2削減目標の50%削減と大きな成果になりました。今後も定着化した省エネに対する姿勢を重視して削減対応に努力します。

CO2の推移【電力量の推移とガソリン使用量の推移】

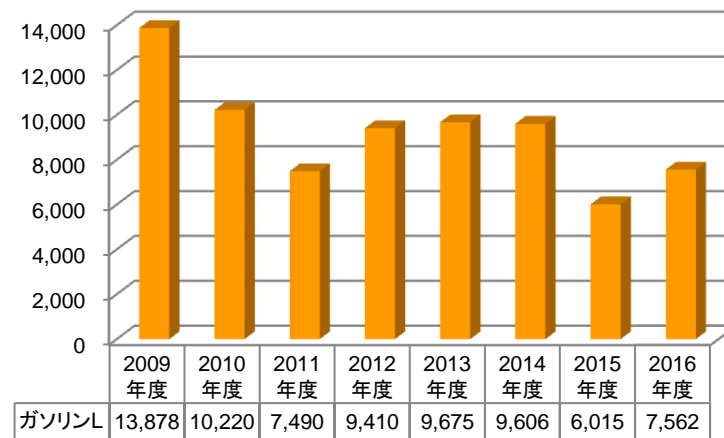
CO₂



電力



ガソリン



コピー使用量の削減

【事務業務の効率化】

取り組み

- ◇カラーコピーの削減
- ◇縮小コピー/裏紙コピー実施
- ◇ペーパーレス業務の工夫
- ◆**ペーパーレス会議の実施**

タブレット使用の会議

目標	結果
95%	102%
2009年度比 △2%	

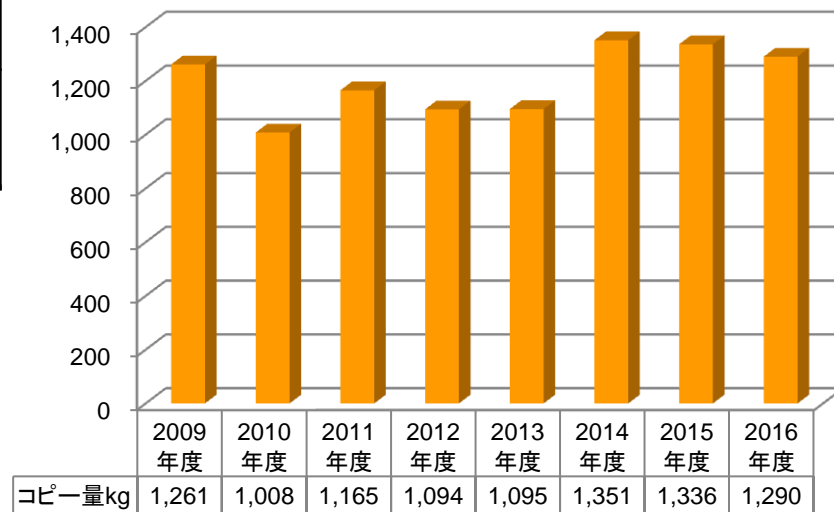


評価(結果と次年度の取り組み)

2016年度はタブレット利用によるペーパーレス会議の実施を行いました。目標値を2%超える結果となりました。コピー使用量は、社員の人数が増えてきたことにより作成する書類が増え、また、営業資料の顧客への配布・拡大により増えた。しかし、一人当たりのコピー数は増えていない。

目標達成をモチベーションに更にアイデアを出し合い削減に取り組む。

コピー使用量の推移



水道使用量の削減

取り組み

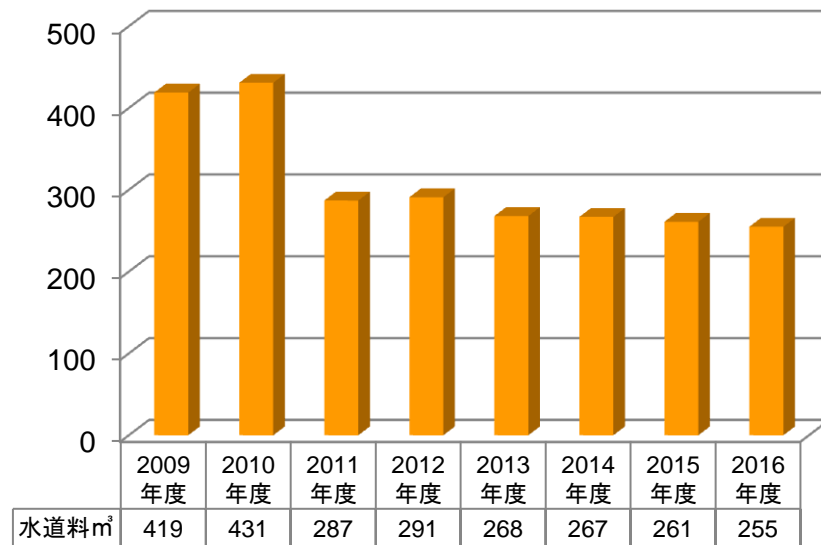
◇節水意識の継続

目標	結果
82%	61%
2009年度比 39%削減	

評価(結果と次年度の取り組み)

社員の生活用水が主体であり更なる水道使用量の削減は難しいが、節水努力を継続します。

水道使用量の推移



一般廃棄物排出量の削減

取り組み

◇可燃ごみ発生量の抑制

- ・紙の廃棄・リサイクル化

◇コピー使用量の削減

- ・業務のペーパーレス化の実施

シュレッダー大型化による
廃棄書類の
リサイクル化

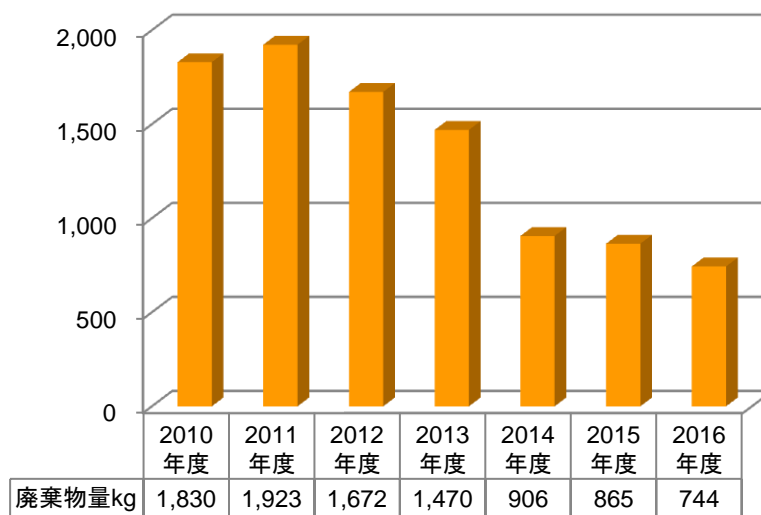


目標	結果
80%	41%
2010年度比 59%	

評価(結果と次年度の取り組み)

目標値を高くし、また、社員の人数が増えて、それに伴い可燃ごみも増えてきましたが、目標を達成。紙の廃棄のリサイクル化継続により削減が出来ました。2017年度は一人ひとりがごみを発生させない、排出しないという省エネ姿勢を重視し、実践することによって削減していきます。

一般ごみの推移



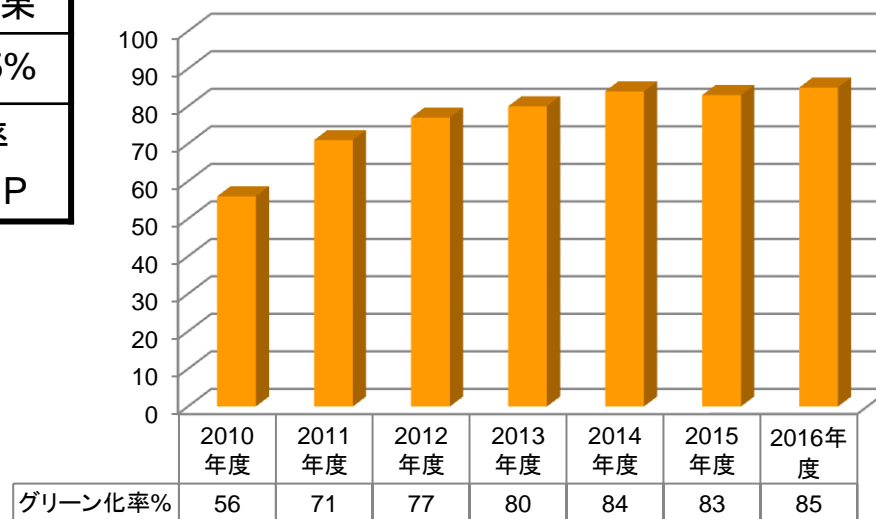
グリーン購入の拡大

取り組み

- ◇エコ用品の購入拡大
- ◆発注ルールの改善実施

目標	結果
72%	85%
グリーン化率 13%UP	

グリーン化率の推移



評価(結果と次年度の取り組み)

2016年度は発注ルールを改善してエコ用品の購入率を向上させた。
2017年度は地道な努力を継続していきます。

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物の分別、契約書、廃棄業者の許可証の確認
資源有効利用促進法	電池、PCの自主回収義務
家電リサイクル法	特定家庭機器(テレビ、電気冷蔵庫等)の小売業者による引取義務
消防法(危険物)	防火管理者届出義務
フロン排出抑制法	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務、書面の交付等
小型家電リサイクル法	事業者の責務(使用済小型電子機器の再資源化の促進)

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去8年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

今まで行ってきた節電、省エネ、省資源の施策(LED照明化、サーバーのクラウド化、シュレッダーの大型化による廃棄紙類のリサイクル化、ペーパーレス会議の実施等)により、環境目標を達成し環境活動はうまく実施できている。

社員数が増えている状況であり、また、営業資料の顧客への配布(拡大)により当然コピー紙使用量も増える。一人当たりのコピー数が増えないように地道な努力を継続すること。

PC、スマホを活用したペーパーレスでの会議運営/営業を継続・実行していくこと。

ガソリンの削減については、社有車のエコカーへの導入・拡大を実施して、ハイブリッド車への切替を進めていく。